

道標-2020-

筑波大学体育会オリエンテーリング部
主将 谷野文史

Be a Good Athlete.

Player

- ・自身の競技能力の向上を目指す
- ・自身の「楽しさ」を高める

Athlete

- ・競技界全体の発展に貢献する
- ・社会に貢献する

今回はAthleteのみなさんに
加盟している日本学連が
どのような取り組みをしていくのか、
またどのようにしていけば良いのか
意見を募集したいです。



谷野文史(筑波大学3年)

- 2017年 筑波大学入学
体育会オリエンテーリング部に入部
ICS出場
- 2018年 日本オリエンテーリング協会
国際委員に就任
ウガンダ選手招聘プロジェクト
- 2019年 主将就任
日本学生オリエンテーリング連盟
事業部長就任
部にスポンサー企業を2社つける
ICSL, ICM(出場予定)

1.道標とは

2020年度に
日本学生オリエンテーリング連盟が
達成したいこと
および指針を示す

2.SWOT分析

S

Strength

- ・日本のオリエンテーリング競技人口の半分以上を占めている
- ・資金に余裕がある
- ・各大学の活動が勢いを取り戻している
- ・比較的組織の自由度が高い

W

Weakness

- ・毎年幹事が変わるため、長期的な成長の見通しがたっていない
- ・地区により所属する大学数のばらつきがある
- ・普及等対外的な活動が行われていない
- ・保有トレインの維持

日学

- ・森林スポーツへの社会的興味の増加
- ・UNIVAS等大学スポーツへの関心の高まり
- ・地図作成業者の増加により、地図の作成の委託という選択肢が生まれた

O

Opportunity

- ・国有林法の改正によりトレインとして利用しやすくなった

T

Threat

- ・社会人の日学離れ
- ・スポーツ組織にもコンプライアンス強化の波が来ている。
- ・他の森林スポーツの台頭
- ・トレインの経年劣化

3.2030年の日学はどうなっている？



- ・ 毎年幹事が変わるため、長期的な成長の見通しがたっていない

→ 1年毎に幹事が入れ替わるためやってきたことが引き継がれなかったり、やりたいことがバラバラで継続的な成長が得られない。

→ **日学2030 プロジェクト**
(仮称)

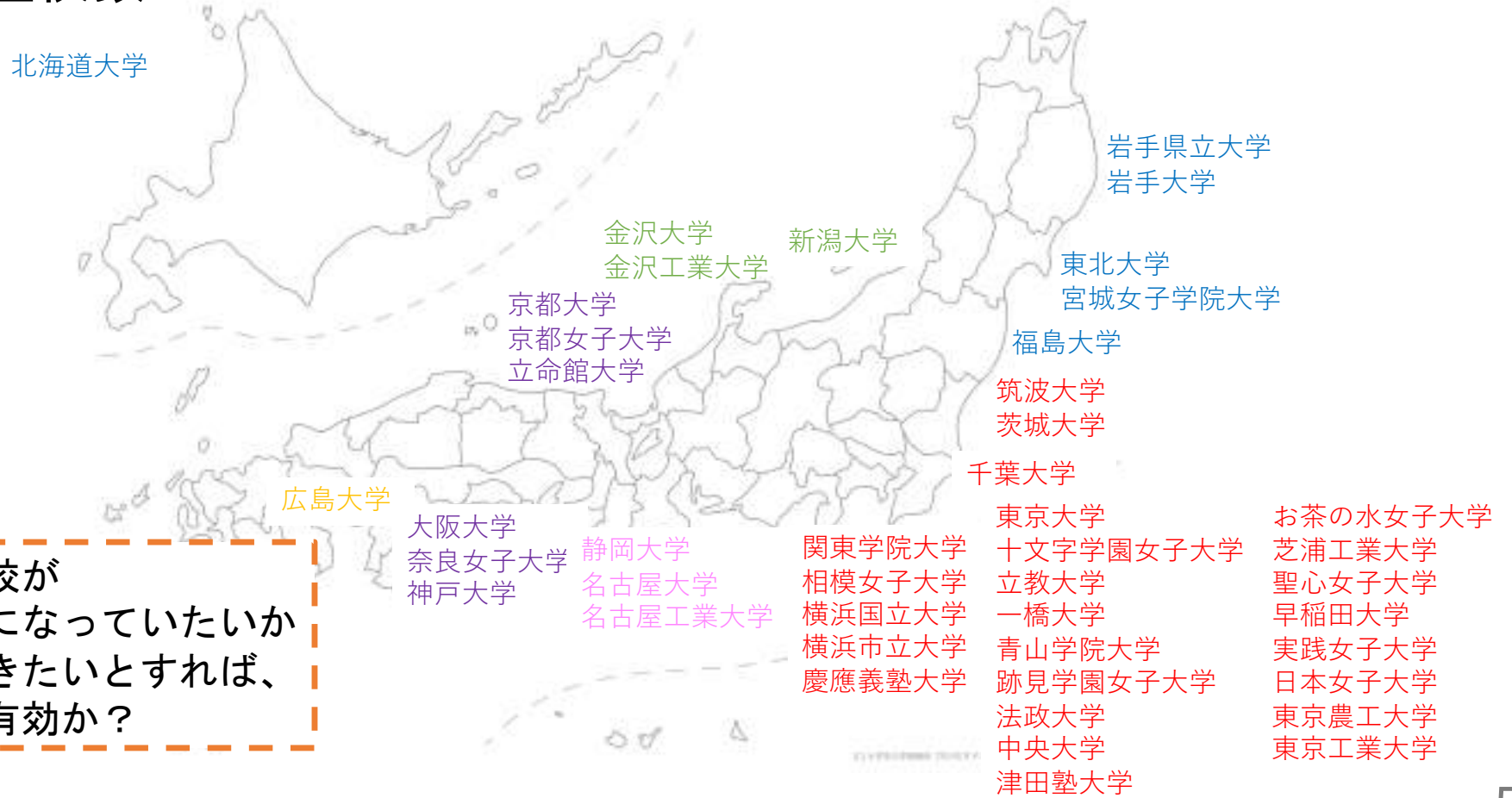
3.2030年の日学はどうなっている？

日学2030 プロジェクト(仮称)

2030年に日学があるべき姿として具体的な目標を策定する。
日学幹事会は毎年この目標を達成すべく、様々な事業を行う。

3.2030年の日学はどうなっている？

例えば加盟校数...



2030年には加盟校が
どのくらいの数になってほしいか
また増やしていきたいとすれば、
どのような策が有効か？

学生大会 Tours-2020-



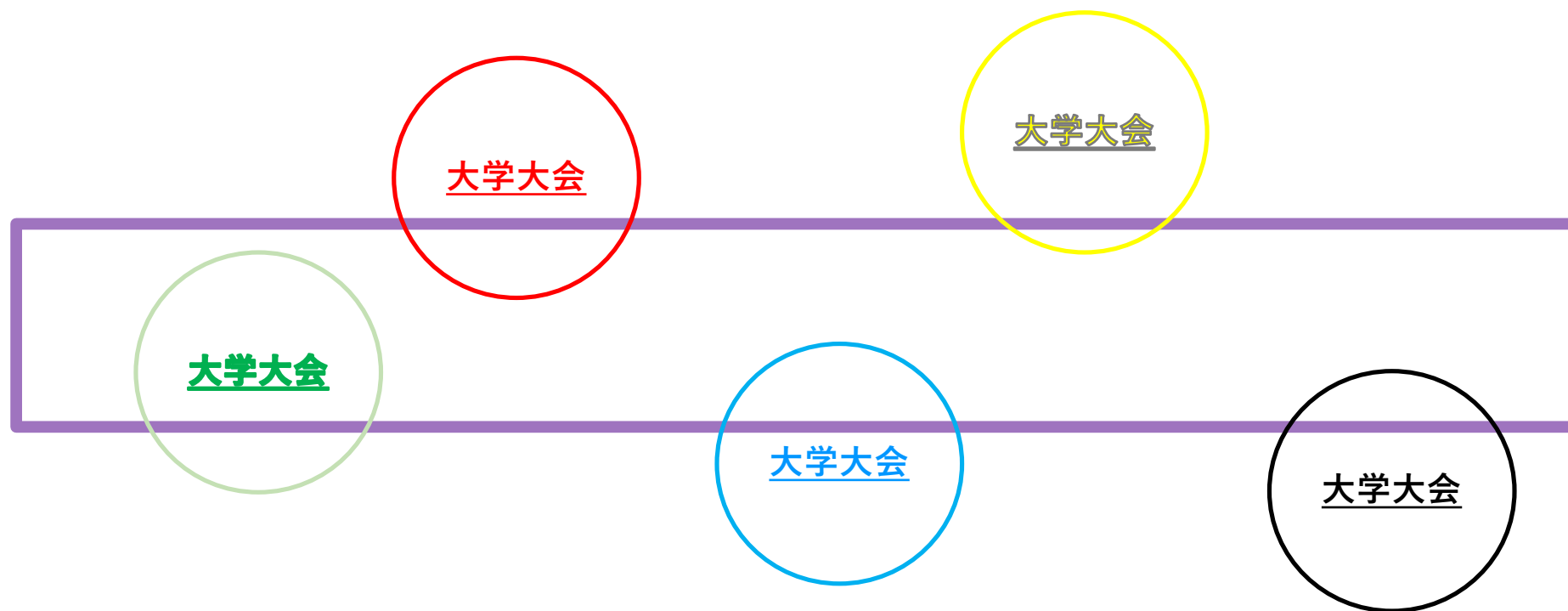
〈背景〉

昨年度開催されたCOTJは集客や運営者に一定の効果があったと考えられる。今後は学生大会をより盛り上げるための仕組みづくりを構築していく必要がある。

〈内容〉

来年度開催される学生大会から希望をとってTour対象に指定する。運営は集客力を得、参加者はポイントを得る。また特設サイトにて優勝者のルート図公開や、インタビューを掲載して大会を盛り上げる。

4. 学生大会ツアーズ



バラバラだった学生大会に横のつながりを！

4. 学生大会ツアーズ

学生大会
Tours-2020

日学

競技者登録費

学生大会参加の
インセンティブ

ランキングポイントの
購入
後援申請

ランキングポイントの
付与
資材の貸し出し
2年目以降は資金提供

競技者

大会参加

良質な大会

運営

4. 学生大会ツアーズ

学生大会 Tours-2020



＜競技者登録＞

大学生は無料、社会人は1000円を競技者登録費とする。
→NishiPROのシステムを利用？

＜ポイントのシステム＞

運営毎にポイントの配分は任される。(最上位クラスを得点対象とする。)また、ポイント配分の傾斜については各順位のポイントの差が●%以内といったルールを設ける。

＜ポイントの購入＞

運営はまず日学に後援申請を出すことにより購入の権利を得る。ポイントは1000円/10ptで販売する。(ただし、最小購入数は50pt(5000円)とする)

＜ランキングの算出＞

運営はポイント配分の結果を算出し日学事務局に提出する。提出されたポイントを元に合算し、ランキングを大会特設サイトにて掲載する。

＜新人割引＞

学生大会Toursに加盟している学生大会では、競技者登録1年目の競技者に対して300円以上の割引を行う。これにより、1年目の定着をはかる。

＜景品＞

ランキングを元に上位者に景品を配布する。今の所NishiPROプリペイドを景品にし以降の参加インセンティブを高める。

＜後援申請＞

日学への後援申請へのインセンティブを高めるとともに資材の貸し出しなどにより運営の協力をする。

＜予算(概算)＞

8万円
-HP作成謝礼 2万円
-ロゴ作成謝礼 1万円
-景品代 5万円

4. 学生大会ツアーズ

<記事>

各大学宛に、インタビュー内容をメールで送信。それを元に幹事が順番で記事を作成する。

NEWS 概要 ポイント スケジュール

学生大会
Tours-2020



<筑波大大会の寺垣内選手が割す>

激闘の第39回筑波大大会

2019年12月1日、石岡市にて第39回筑波大大会が開催された。トレインは細かい地形の片斜面のトレインで非常に難易度の高いレースが展開された。多くの競技者がミスを重ねる中、レースを制したのが男子が寺垣内選手・女子が稲毛選手であった…



上位選手ルート図

<現在のランキング>

男子

1位	小牧弘季	55pt
2位	伊藤 樹	50pt
3位	大石洋輔	48pt

女子

1位	稲毛日菜子	60pt
2位	宮本和奏	50pt
3位	伊部琴美	48pt

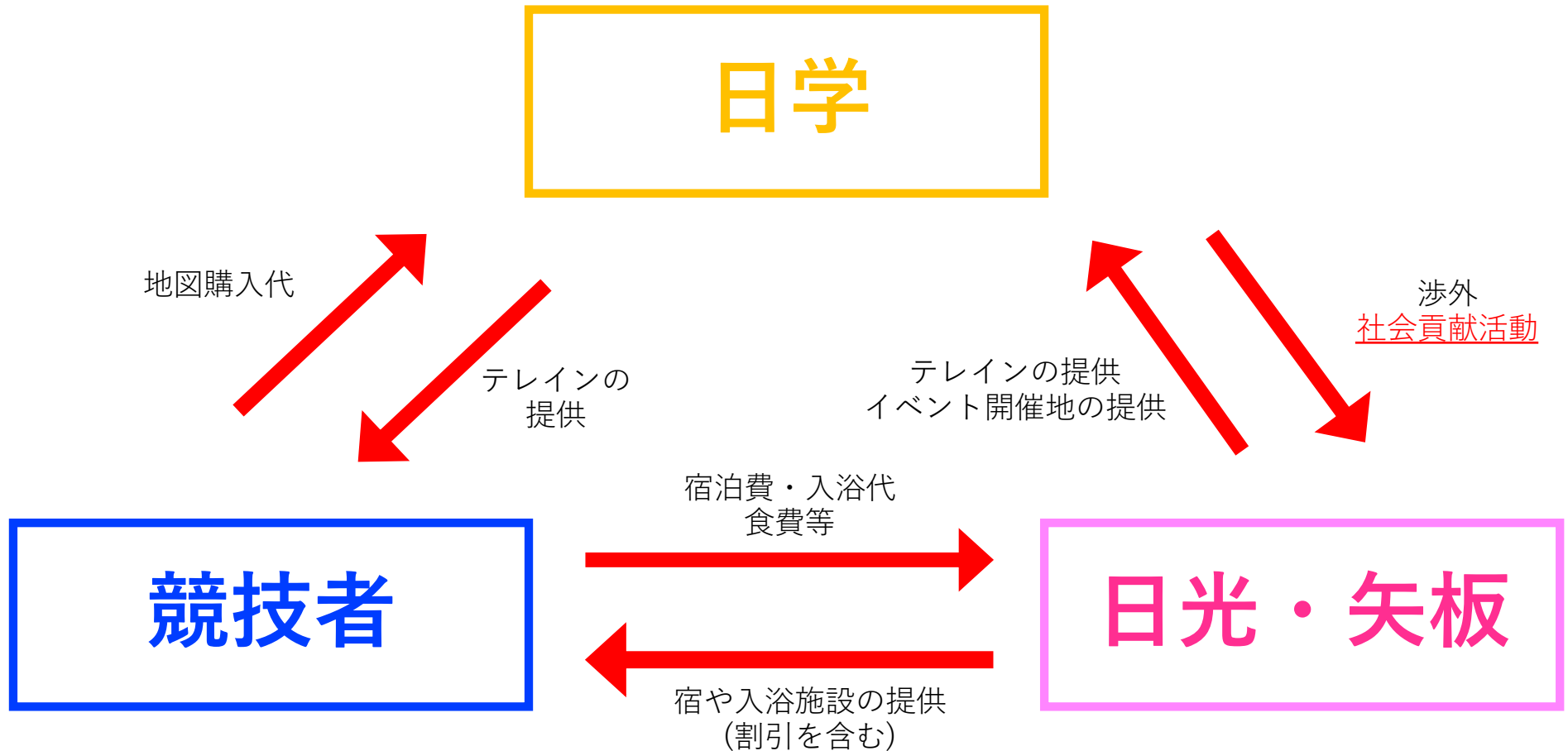
<大会特設サイト>

大会特設サイトにて大会の告知や大会の結果、優勝者・運営者インタビュー、ルート図などニュースとして公開する。(日学幹事でまわす)
また、ランキングについても随時公開をしていく。

<NEWS>

学連の機関紙がない今、その代わりに役割をなす。各大学リレー投稿など、色々な情報が詰まったものとする。

5.日光・矢板をオリエンテーリングシティに



6. 普及活動

日本の競技者登録の約60%が学生である。
つまり、競技の未来を担っているのも学生である。
我が国における競技の普及のために、
学連を主体とした活動をしていく必要がある。
(JOAとの協力は前提とする)

〈具体案〉

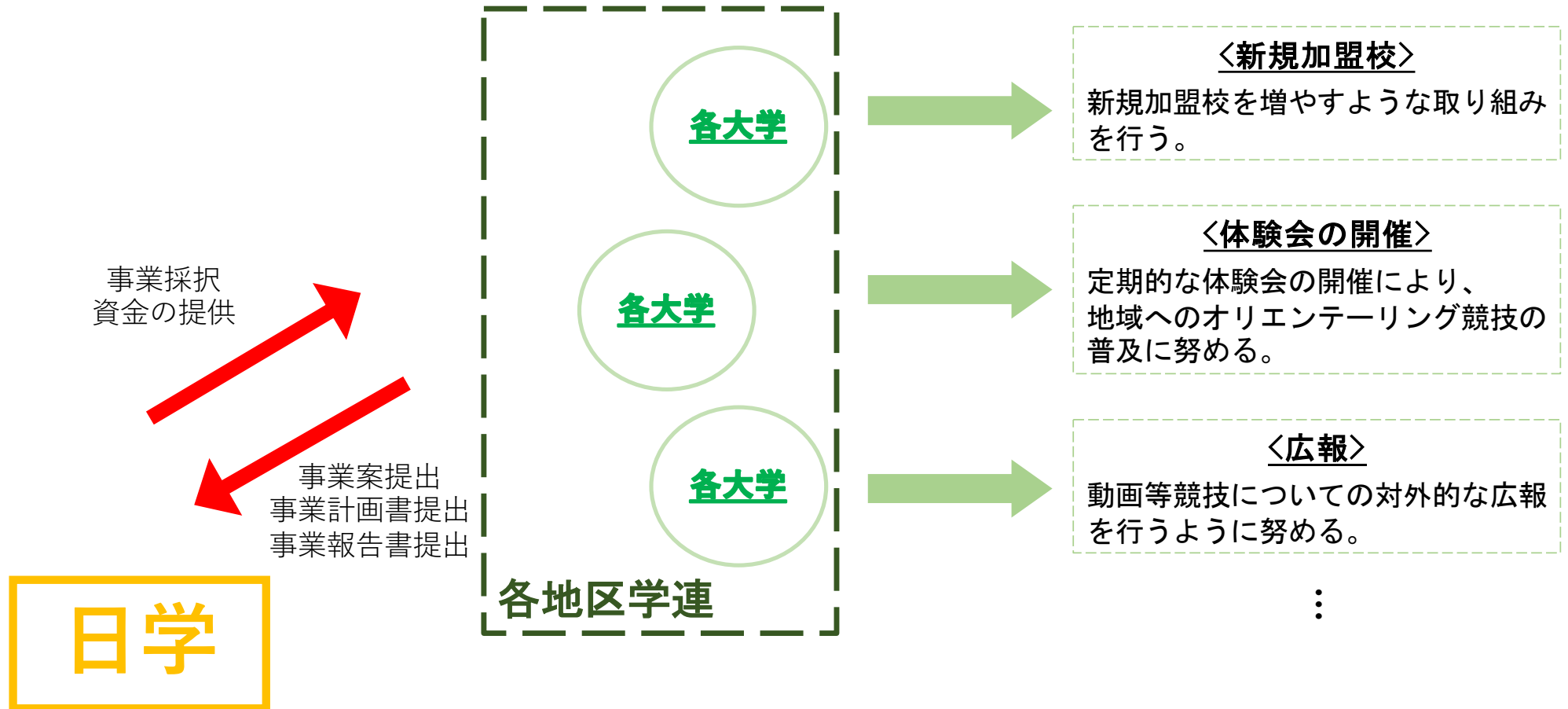
普及事業コンペティションを開催する。
各大学・地区学連は普及事業案を計画し、それを
提出する。
提出された事業案から毎年数事業を採択し、
採択された団体に日学(JOA?)から資金を提供する。

登録区分別競技者登録数

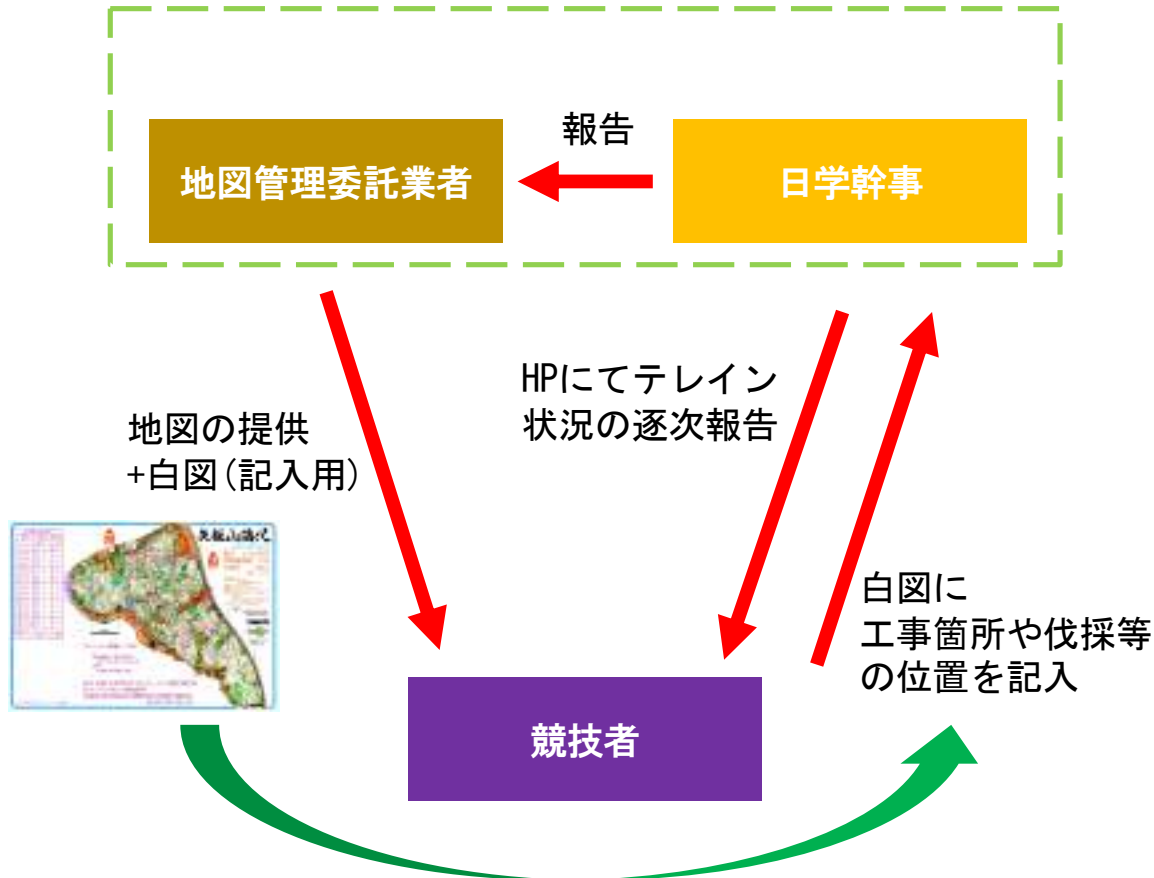
登録区分	人数(割合)
学連	1349(59%)
協会	936(41%)
総計	2285

出典:日本オリエンテーリング協会令和元年度
競技者登録名簿(1107)

6. 普及活動



7. テレインフィードバックシステム



現在テレインの経年劣化や林業等の影響により地図の精度の担保ができなくなり、トラブルが生じている。しかし、地図管理委託業者にも限界があるため全てのテレインを完全な状態で維持していくことは難しい。

そのためテレインの状況を販売側である日学が把握し、購入時にそれを詳細に伝えるようなシステムを整えていく。

8. 今後の予定

- 2/ 8 学連合宿
 - パブリックコメント収集
 - ↓ブラッシュアップ
- 3/12 幹事会

9. アンケート



<https://forms.gle/VM58jqaatt1HxfLn9>